

### 3. 森林土壌の分類

日本における森林土壌の分類は、林野土壌の分類（林業試験場研究報告第280号、1975）に準じて行われてきました。この分類体系に至るまでには多くの研究報告などをもとに審議されてきました。これ以前には国有林野土壌調査方法書（林野庁林業試験場 1955）があります。なかでも分類の基礎的事項は、林野土壌報告第1号（大政正隆 1951）の報告であることを付記しておきます。

森林土壌は8群88型に分類されています。日本に広く分布している土壌は褐色森林土がもっとも多く、黒色土、ポトゾルがこれに次いでいます。

森林土壌の8群を下記に示しました。

#### P ポトゾル：成帯的土壌

低温・湿潤気候条件下で生成し、ポトゾル化作用を示します。長野県では、海拔高約1,500m以上の亜高山・高山地帯に出現します。

#### B 褐色森林土：成帯的土壌

ポトゾルよりも温暖な気候条件下で生成し、海拔高約1,500m以下の山地帯や丘陵地帯に出現します。ポトゾルに接する山地帯には暗色系褐色森林土が出現することがあります。

#### RY 赤・黄色土

主として沖縄（西日本にも）地域に出現する「古土壌」です。

#### Bt 黒色土

土壌の母材が火山灰で、海拔高約1,500m以下の火山山麓地帯に出現し、褐色森林土と分布が重なることがあります。

#### DR 暗赤色土

土壌の母材が塩基性（石灰岩など）で、塩基飽和度が高く、火山系の赤・赤紫色の土壌です。ローカルの（ある地方）に出現します。

#### G グライ

グライ化作用を示します。青灰色～灰白色で二価の鉄化合物で、湿地など局部的に出現します。

#### Pt 泥炭土

植物遺体の分解が進まず堆積した土壌（ミズゴケ、ヨシ）。

#### Im 未熟土

土壌生成が未熟、受蝕の土壌です（ゴルフ場など）。

8群の中では下記の土壌が多く分布していますので、理解しておくくと便利です。

- ・ B 褐色森林土：成帯的土壌
- ・ Bt 黒色土：土壌の母材が火山灰
- ・ P ポトゾル：成帯的土壌

以上の3群は重要です。